

令和2年度 明浄学院高等学校 学校評価

1 めざす学校像

日本の将来を支えるグローバル人材の育成に努め、外国語教育やキャリア教育に重点を置くとともに日本の文化伝統教育を継承する。
その為に、全学をあげて高質な教育展開を実践し、また、教育方針の一つでもある本校の伝統行事を踏襲し、国際社会に立派に貢献できる女性の育成を果たす。

2 中期的目標

1 学習指導を徹底し、学力の向上を図る

- (1) 3年間を見通した的確な進路指導による学習意欲の向上
- (2) 主体的な学習者へ転換させるための授業改革の実施
- (3) 体験的な学習を実施し、主体的に自己の将来を考える生徒の育成
- (4) 英語力強化を図り、国際感覚に富んだグローバル学習の実践

2 生活指導を徹底させる

- (1) 家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の(挨拶・身だしなみ等)の確立を図るとともに、自己管理力の育成
- (2) 教育相談の充実を図り、生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応
- (3) 爽やかに気持ちを込めてお互いに挨拶が出来るように、徹底指導するとともに教職員からの声掛けも心掛ける

3 きめ細やかな進路指導の徹底により、学力適性に応じた進学就職の実現

- (1) キャリア教育を基盤とした組織的な進路指導の充実
- (2) 校内及び家庭との連携を密にし、個々の進路目標に応じた適切な支援
- (3) 適切で迅速な情報収集の提供に努め、生徒が自ら考える進路指導の充実

4 特別活動の推進・強化

- (1) 部活動を更に活性化させ、府・近畿・全国で活躍する部活動の育成
- (2) 地域諸団体との連携により一層強化し、地域スポーツ及び文化の振興に寄与

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】令和2年度

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒 授業評価アンケート 授業準備がしっかり行われている 75% 授業の目標や大切なポイントを説明してくれる 73% 声や話し方は聞き取りやすく、説明がわかりやすい 72% 質問したり考えたり、発表する時間が多い 70% 先生の話すスピードや声の大きさは適切である 74% 教え方や教材に工夫が見られる 72%</p> <p>○保護者 比較的好意的な評価ポイントが維持されていると考える。ただ、この結果から、さらなる、授業力アップを目指し、引き続き日頃から継続し、努力するように心がけていただきたい。</p> <p>○教職員 各人、各学期末の授業アンケートを素直に受け止め、良い評価については更に上質の授業を目指し、低い点については謙虚に受け止め、改善と工夫に力を注ぐ。常に生徒の目線に立ち、目標値を設定し効果的な指導に取り組んでいきたい。</p> <p>【分析】 引き続き教職員に学校運営と将来構想を周知し、意識改革に取り組みなければならない。特に授業には、一つひとつの課題についてPDCA実施し、生徒指導や授業教授力アップを目指す。又、様々な点について各々目標値と期限を設定させ、意欲的に実践力の向上に繋げた。次年度は、先ず「生徒指導のあり方」を精査し、生徒が自発的に、探求心を持って授業に臨む学校環境づくりを目指す。</p>	<p>○保護者視点で見ると、生徒は総合コースでは、テスト直前の勉強で通用しているような気がする。その程度の授業、テストでいいのだろうか。結局、進路が指定校頼みとなってしまう。部活動メインの学校生活で、進路の幅が広がらない。また、3年生になってあわてて、オープンキャンパスに出かけるなど、進路について考える余裕がない。部活動では鍛えられているので、社会生活には適応できると思う。</p> <p>○受験を控えて、そのスタートラインに生徒をつかせることは、最低限必要である。</p> <p>○地域から見ると、学校的には、吹奏楽、バスケットボールなど部活動がとても盛んな感じで、しっかりやっているという印象を持つ人が多い。</p> <p>○藍野大学側のアンケートでは、生徒要望として、トイレなどの環境整備、iPadの利用などネットワークを作ってほしいなどが出ている。</p> <p>○学校としては、今後のコロナ対策として、オンラインによる授業提供や、課題提出といった教育活動を充実していく必要がある、また、現状の課題として、時代に即した校則のあり方や、スマートフォンの活用など、考えて行かなければならない。</p> <p>○今後、学校法人藍野大学のグループ校となるので新しい形の学校も、模索していくことになる。</p>

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価 令和2年度

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>学力の向上</p>	<p>(1) 個に応じた学習指導の充実 ア 授業における指導体制を確立する。 イ 習熟度別展開授業の実施。</p> <p>(2) 生徒主体の授業改革の実施 ア 指導と評価の一体化を図り、教科・科目の目標の達成に向けた授業改善を努める。 イ 法令や生徒の実態を踏まえた教育課程の改善</p>	<p>(1) ア 指導方法評価方法を工夫し、思考力・判断力・表現力を育成する イ 生徒間の学力差を考え、総合コースにおいてアスリートクラス編成を行う</p> <p>(2) ア 教科の振り返りと授業点検をし、各教科の公開授業を積極的に進める イ 各コースにおける生徒の興味関心等に対応した特色ある教育課程を編成する</p>	<p>(1) ア 授業アンケート満足度75%以上 イ 学年成績の推移を経年比較</p> <p>(2) ア 常に公開授業とし、相互の授業研究を実施 イ 教育課程の編成</p>	<p>(教務部)</p> <p>(1) ア 授業評価アンケートの満足度は74.4%となり、わずかに目標に届かなかった。 イ 総合コースにおいてアスリート専攻の生徒数が1クラス編成できる人数出なかったため混成クラスとなった。学校全体の学力はベネッセ社の平均GTZが1ランク上昇している(D2→D1)。 特進コースの新入生は2・3年生より入学時の学力は低かったものの、1月模試では概ね例年並みに近づけることができた。</p> <p>(2) ア 現在の社会情勢もあり、公開授業を常態化することは困難であった。 イ 令和4年度入学生からの学習指導要領の改訂に加え、総合コースに関して専攻課程・選択科目の再編成を行った。また新たに看護系の大学への進学を目標とする看護メディカルコースを設置した。</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
生活指導	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清楚端麗な身だしなみを心掛けさせる。 ・登下校マナーの徹底 <p>(2) 道徳教育、人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の充実を図り生徒理解に努める。 ・問題の早期発見・早期対応に努める。 	<p>(1) 身だしなみ指導週間の実施</p> <p>また、毎朝、全教員による登校指導の実施</p> <p>(2) 道徳教育、人権教育を推進し、人間として調和のとれた生徒を育成する。</p> <p>全教職員、適格な問題対処や教育相談ができるように研修会を実施。</p> <p>「いじめに関するアンケート」の定期的な実施と適切な対応。</p>	<p>(1) 遅刻者数の統計調査により前年度比10%減少を図る。</p> <p>風紀検査／毎学期 登校指導／毎朝 自転車安全講習会年1回実施 薬物乱用防止講演会年1回実施</p> <p>(2) 各学年人権学習（講演等） 教職員研修会1回実施 「いじめに関するアンケート」／毎学期末</p>	<p>(生活指導部)</p> <p>(1) 基本的な生活習慣の確立（生活指導部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者数に関しては、昨年よりも10%削減の目標は、現時点では38%減と達成できそうではあるが、昨年より生徒数そのものが減少しているし、決して少ないとは言えない結果であったので、継続して指導にあたる。 ・風紀検査は毎学期行い、清楚端麗な身だしなみを心掛けるよう指導した。年末辺りには、気の緩みが見られ、指導件数が増加したので、次年度では時期によって指導の浸透具合も考察し、生徒たちと接することができるようにしたい。 ・気持ちの良い挨拶で、スムーズに教育活動がスタートできるようにと、毎朝校門にて登校指導を実施。徐々にではあるが、改善が見られるようになった。 ・自転車安全講習・薬物乱用防止講演会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部講師による講演や研修会は実施できなかったが、授業や放課後を利用して、本校教員にて指導した。 <p>(2) 道徳教育、人権教育の推進（人権教育委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、密になる講演や研修会の実施は行っていない。 ・いじめに関するアンケートの実施は一度行い、いじめられていると答えた生徒への聞き取りを担当と共に行った。

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
進路指導	<p>(1)生涯を見通した的確な進路指導</p> <p>ア 進路選択に向けた活動を企画・運営する。</p> <p>イ キャリア教育を基盤とした組織的な進路指導の充実に努める。</p> <p>(2)希望進路実現のための学力の充実と向上</p>	<p>(1) ア 3年間の系統的な進路指導計画を策定し、適切な時期に進路別ガイダンスや情報提供、講習や面接指導などを行うことにより、進路意識の向上を図る。</p> <p>イ あらゆる機会を捉えて、生徒の人間力、将来の社会人としてのマナー向上を図る。</p> <p>(2) 模試や検定の受験に向けた意識の一層の高揚(事前・事後指導を徹底する)</p>	<p>(1)</p> <p>ア 各学年の進路ガイダンス面接対策講座(3年生)</p> <p>オープンキャンパスへの参加啓蒙</p> <p>イ キャンパス見学の実施</p> <p>(2)</p> <p>実力テスト・小論文テスト</p> <p>模試分析の充実</p> <p>進路指導室利用の促進</p>	<p>(1) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、学校外での活動が大幅に制限される中、感染予防に最大限留意しながら進路行事を行い、進路意識の向上に努めた。 ・3学年の生徒の小論文指導や面接指導に関して、多くの教員が指導できる体制が不十分であるため、今後の課題としたい。 <p>(2) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合コースでの学力の向上は達成できたが、特進コースでは不十分である。 ・特に特進コースにおいて、日々の教科指導力の向上を図るとともに、自宅学習の支援を、来年度はiPadや外部業者と提携しつつすすめていきたい。

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
特別活動	<p>(1) 強化指定部を中心に適切な部活動が実践されるように指導。</p> <p>(2) 校内美化をいっそう充実させる。学校をきれいにすることで生活意識を改善させる。</p> <p>(3) 本校伝統の学校行事の継承、維持に努める。 (例) 家隆忌・芭蕉忌・和歌披講会・宮中詠進など</p>	<p>(1) 強化指定部の活動内容を精査し、予定表のチェックと助言指導を実施。</p> <p>(2) 校内一斉美化の日を設け、学校全体で協力し、清掃活動を行う。</p> <p>(3) 全員参加を原則とし、文化意識を高めしておく。</p>	<p>(1) 強化指定部完全休養日／月4日 近畿大会以上の出場</p> <p>(2) 全校美化の日を設定。 11／5</p> <p>(3) 行事ごとの要項の徹底</p>	<p>(入試広報)</p> <p>9月より藍野大学法人の協力を得て、新しい施策を多く取り入れ、受験生に対して学校の信用回復と興味付けを行った。</p> <p>(保健安全部)</p> <p>美化の日の清掃活動では、積極的に清掃に取り組む姿がみられた。今後も環境美化の意識を定着させて行けるよう継続的な働きかけを行っていく</p> <p>(総務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家隆忌 7/2(木)夕陽丘家隆塚にて実施 ・詠進歌 令和3年お題「実」9月末宮内庁に発送 ・芭蕉忌 11/19(木)本校作法室にて実施 <p>今年度は新型コロナウイルスの影響で残念ながら新年かると会(1/7)は中止、新年和歌披講会は宮中歌会始の延期に伴って予定の2/18に実施できなかった。(宮中歌会始の実施を受けて次年度実施予定)</p>

以上